

我孫子のいろいろ八景 見聞綴り

其の一

公園八景 / 坂道八景 / 成田線車窓八景

我孫子市

我孫子のいろいろ八景

【公園八景】（東から）

宮ノ森公園

气象台記念公園

古利根公園・自然観察の森

湖北台中央公園

五本松公園

こうのやま
高野山桃山公園

手賀沼公園

根戸船戸緑地

【坂道八景】（東から）

古戸の坂の十字路

けやき通りの坂

おかほつと
岡発戸峠の坂

日立坂

水神山古墳坂

子之神寄進坂

天神坂

船戸の森の坂

【成田線車窓八景】（我孫子駅から）

常磐線オーバークロスと電車区

電力中央研究所の斜面林と白亜の建物

おかほつと いちぶ
岡発戸・都部の谷津

湖北の里山

新木駅北側付近の樹林地

「やすらぎの道」の並木

緑の谷を抜ける単線カーブ

宮ノ森公園

はじめに

我孫子市では、市民の景観への関心を高めるとともに、我孫子の景観資源の発掘につなげることを目的として、我孫子のとおきのおき場所や隠れた名所、珍しい風景などを市民の皆さんに見つけてもらおうと「我孫子のいろいろ八景」の募集を行いました。

今回は、「公園八景」「坂道八景」「成田線車窓八景」の3つのテーマに絞って、市内でいつでも誰でも見ることができる場所を市民の皆さんに探していただきました。募集は8月1日～9月30日までの2か月間で、197人の方から580件（公園：230件、坂道：229件、成田線車窓：60件、その他：61件）の応募がありました。八景を選定するために、市内で景観づくりや自然保護、歴史文化の振興などの活動を行っている市民団体に属する6名の委員で構成する「我孫子のいろいろ八景選考委員会」を設置し、各テーマから8か所の景観を左ページのとおり選定しました。市民の皆さんのご協力により、素晴らしい八景を選ぶことができました。

選ばれた八景は、市内でも有数の景観スポットや普段は通り過ぎてしまうような隠れた景観、こんなところが我孫子にもあったんだというような珍しい景観など、様々な景観スポットが「我孫子のいろいろ八景見聞綴り」に紹介されています。今後も、多様なテーマで八景探しを行い、我孫子の景観資源を増やしていきたいと考えています。

“ゆとり”と“うるおい”のある我孫子らしい景観づくりを進めていくためには、市民の皆さんや事業者の方々、行政がそれぞれの役割を認識し、協働による取り組みを進めることが必要です。今回の企画は、市の景観啓発事業を委託している「我孫子の景観を育てる会」（平成13年7月：市・景観条例に基づき景観づくり市民団体に認定）の発案で実施したもので、市の景観形成基本計画に掲げる「まちの景観はみんなで作るもの」を実践したものです。

本綴りが我孫子の景観づくりに対する市民の皆さんの認識を深め、豊かな景観を未来に引き継ぐための一助となれば幸いです。



オオバンくん

目 次

はじめに	1
目次	2
いろいろ八景 分布図	3
【公園八景】	
① 宮ノ森公園	4
② 气象台記念公園	5
③ 古利根公園・自然観察の森	6
④ 湖北台中央公園	7
⑤ 五本松公園	8
⑥ <small>こうのやま</small> 高野山桃山公園	9
⑦ 手賀沼公園	10
⑧ 根戸船戸緑地	11
【坂道八景】	
① 古戸の坂の十字路	12
② けやき通りの坂	13
③ <small>おかほつと</small> 岡発戸峠の坂	14
④ 日立坂	15
⑤ 水神山古墳坂	16
⑥ 子之神寄進坂	17
⑦ 天神坂	18
⑧ 船戸の森の坂	19
【成田線車窓八景】	
① 常磐線オーバークロスと電車区	20
② 電力中央研究所の斜面林と白亜の建物	21
③ <small>おかほつと いちぶ</small> 岡発戸・都部の谷津	22
④ 湖北の里山	23
⑤ 新木駅北側付近の樹林地	24
⑥ 「やすらぎの道」の並木	25
⑦ 緑の谷を抜ける単線カーブ	26
⑧ 宮ノ森公園	27
訳注・出典	28
我孫子のいろいろ八景選考委員会委員	29

我孫子のいろいろ八景分布図

- 公園八景選定地
- 坂道八景選定地
- 成田線車窓八景選定地

●【公園八景】

- ① 宮ノ森公園 p4
- ② 気象台記念公園 p5
- ③ 古利根公園・自然観察の森 p6
- ④ 湖北台中央公園 p7
- ⑤ 五本松公園 p8
- ⑥ 高野山桃山公園 p9
- ⑦ 手賀沼公園 p10
- ⑧ 根戸船戸緑地 p11

●【坂道八景】

- ① 古戸の坂の十字路 p12
- ② けやしき通りの坂 p13
- ③ 厩発戸峠の坂 p14
- ④ 日立坂 p15
- ⑤ 水神山古墳坂 p16
- ⑥ 子之神奇進坂 p17
- ⑦ 天神坂 p18
- ⑧ 船戸の森の坂 p19

●【成田線車窓八景】

- ① 常磐線オーパークロスと電車区 p20
- ② 電力中央研究所の斜面林と白亜の建物 p21
- ③ 厩発戸・都部の谷津 p22
- ④ 湖北の里山 p23
- ⑤ 新木駅北側付近の樹林地 p24
- ⑥ 「やすらぎの道」の並木 p25
- ⑦ 緑の谷を抜ける単線カーブ p26
- ⑧ 宮ノ森公園 p27



公園八景① 宮ノ森公園



J R 成田線 布佐駅東口から徒歩 10 分

(近隣案内)

竹内神社

丘陵下の地形を上手に活かし、起伏あり、雑木林あり、水辺ありの変化に富んだ公園です。入口近くの遊具のある広場を抜けると、東に向かって桜並木が続き、やがて湿地から池を回って、丘陵下の雑木林の中を戻ってくる周遊路の散策を楽しめます。散歩の途中では、隣の布佐小学校の児童達の歓声が、時折心地よく響いてきます。また桜並木は、我孫子市制 40 周年（平成 22 年）の記念切手に採用されたほど豪華です。そして、折よく通る成田線の電車に思わず手を振りたくなる場所でもあります。ツツジの中の滑り台は、我孫子で一番長く、子どもたちに人気です。

公園八景② 気象台記念公園



J R成田線 新木駅北口から徒歩5分

新木野住宅地の南の高台にある大きな芝生の広場は、国道356号からはよく見えませんが、足を踏み入れるとその広がり感動します。かつての気象送信所が、平成14年に公園になりました。広大な緑の絨毯を取り囲む松と桜の調和が美しく、何度でも走ったり、歩きまわったりしたくなるような躍動感を感じるどころです。また、散歩の途中一息いれて、野鳥のさえずりを聞きながら、筑波山を眺める格好の場所があります。公園北側から新木野住宅地に下る坂道も趣きがあります。

ここは昭和13年、布佐気象送信所として開所し、後に天気図の模写伝送の業務を行っていました。布佐出身の第4代中央気象台長岡田武松(注1)が開設に尽力しました。新田次郎(注2)が中央気象台職員のころ、妻の藤原てい(作家)と、ここで新婚生活を送ったこともあります。公園の入り口近くにあるアメダス(気象庁の無人観測施設)は、全国では1,300箇所あり、我孫子市ではもともと電力中央研究所にあったものを、平成22年3月にこちらに移設したものです。

公園八景③ 古利根公園・自然観察の森



J R 成田線 湖北駅北口から徒歩 20 分

(近隣案内)

古利根沼

古利根沼南側の台地上にあります。深い森なのに歩きやすく、土を踏む柔らかな感触は森の長い年月を感じます。自然観察の森の名にふさわしく、豊富な広葉樹林には昆虫や小動物、鳥たちも棲息しています。森の保全のために、緑のボランティアの皆さんが活動しています。

公園北端から見下ろす古利根沼(注3)とその対岸のおおほり地区^{おおほり}の^{たたず}佇まいも素晴らしい景観です。この森は、平成12年に第4回我孫子市景観賞を受賞しています。

ここはかつての芝原城址(注4)で空堀跡もあり、中世城郭としては比較的よくその形を残しているといわれています。心の中で、兵(つわもの)たちの世界にタイムスリップしてみましよう。

公園八景④ 湖北台中央公園



J R 成田線 湖北駅から徒歩 5 分

(近隣案内)

けやき通りの坂 (坂道八景)

周囲を静かな住宅地に囲まれた、なだらかな斜面の公園です。なだらかな起伏が良好な景観を形成し、常緑樹に囲まれたポッカリ開いた空間は、都市化の中で貴重なオアシスとなっています。

築山や段差を利用し、多様な樹木が四季折々の変化を楽しませてくれ、広々とした芝生に、桜の花見、銀杏の黄葉を堪能することができます。秋には大勢の市民が集まり、「産業祭り」が開催されます。

ここは、運動公園としての機能も持ち合わせていて、休日には少年野球の子どもたちの元気な声が聞こえます。

公園八景⑤ 五本松公園



J R 成田線 湖北駅南口から徒歩 2 5 分

(近隣案内)

おかほつと いちぶ
岡発戸・都部の谷津 (成田線車窓八景)

おかほつと
岡発戸の台地が、手賀沼の方に半島のように張り出した森の公園です。足を踏み入れ、緩やかなアップダウンのこみち小径を歩くと、ひんやりとした空気に触れて森林浴に浸れ、春は桜を楽しめます。冬に斜面林上部が落葉すると、手賀沼が姿を現します。

「思索の道」とでもいこみちうような小径を辿り、東屋の向こう、園内最奥のかつて手賀沼を見渡せたであろう場所に、加瀬完氏 (注5) の歌碑がひっそりとあります。

「薄氷張りたる沼に 白鷺はひとり立ちをり われに似てあり」

公園に隣合わせた「ふれあいキャンプ場」は夏には大勢の人たちで賑わう明るい空間。そこへ渡る「あいあい橋」は市民からの募集で名付けられたものです。

このやま
公園八景⑥ 高野山桃山公園



- J R 常磐線 天王台駅南口から徒歩 15 分
- J R 常磐線 我孫子駅南口より東我孫子車庫行きバス 我孫子中学校下車徒歩 3 分

(近隣案内)

日立坂 (坂道八景)

平成 22 年 3 月、市制 40 周年を記念して、手賀沼を望む高台にオープンしました。この場所は、昔から山桃の木がたくさんあった場所で、「桃山」と呼ばれていました。園内にはその地名にちなんで「ゲンペイモモ」が 2 本「ゲンペイシダレモモ」が 1 本 (共に名札が付いている) 植えられています。背の高い桐の木は以前からあったものです。

園内は、集いと眺望の高台エリア、緑の再生・保存の斜面林エリア、湧水のビオトープエリアの 3 つのエリアで構成されています。市民寄贈の「かたらいベンチ」に腰を下ろし、ゆったりとした手賀沼を眼下に眺めるのもよいでしょう。斜面林を大切に残して、ハケの道 (注 6) から上ってくる木道風の階段道は、適度な勾配で歩きやすく造られています。そのハケの道には、湧水を利用したビオトープがあつて、小さな水辺空間を楽しめます。

公園八景⑦ 手賀沼公園(手賀沼及び文学の広場を含む)



J R 常磐線 我孫子駅南口から徒歩 10 分

(近隣案内)

天神坂 (坂道八景)、三樹荘、嘉納治五郎別荘跡、我孫子市生涯学習センター (アビスタ)、白樺文学館、杉村楚人冠記念館 (邸園)、楚人冠公園

手賀沼公園は、手賀沼に面した広い敷地の親水性を有した公園です。広い芝生の多目的広場、種類の豊富な樹林空間 (一角に平和の記念碑)、ミニSLがある子ども広場、遊具のある広場、などで構成されている、複合的で変化に富んだ公園です。

平成9年に第1回我孫子市景観賞を受賞した、あの懐かしいポプラ並木の代わりに植えられたメタセコイアも見事に成長しています。そのすぐ横には広島市の「被爆アオギリ二世」、長崎市の「被爆クスノキ二世」の苗木が未来に向かって成長しています。多目的広場突端の公園岬には東屋とベンチが設置されていて、ふれあい岸辺の100mの親水護岸は、傾斜が緩やかで直接水に触れることができます。水鳥がゆっくと泳ぎ、野鳥が高く低く鳴き交わし、水辺の木陰を成す樹木の数々、この開放的な爽快感は、何度でも訪れたいところ。公園東側の道沿いは、地元の皆さんの手になる市民花壇で縁どられています。

近くの文学の広場には、斎藤茂吉の歌碑や我孫子に縁の文化人たちの陶板レリーフが配置されています。これらもミニ景観を醸し出していて、訪れた人はしばし文人の心地となるでしょう。

幾多の変遷を経て、満々たる水を湛え、静かな水面の手賀沼は、訪れる人誰をも優しく迎えてくれています。澄んだ空気の中、遠くスカイツリーを臨み、また冬には夕陽が沈むころ、影富士を見ることがもできます。

公園八景⑧ 根戸船戸緑地



J R 常磐線 我孫子駅南口から徒歩 15 分

(近隣案内)

武者小路実篤邸跡

船戸の森の坂 (坂道八景)

根戸新田を見下ろす、東西に延びる高台にある緑地の大部分は、特別緑地保全地区です。

ここは、西側の「船戸の森の坂」と、東側の「白山古墳公園」近くの両方から入ることができるので、散歩の中に組み入れると、バリエーション豊かなコースができあがります。

森は、地形をできるだけ自然の状態で保存し、中に東西に抜ける小径こみちがいろいろとあり、しばししょうよう逍遥を楽しむことができます。そこには野鳥が集まり、昆虫、山野草も豊富で、自然観察をするのにもよい所です。

春には森の一角にカタクリが咲き、夏には草刈りをした後にキツネノカミソリ (彼岸花の一種) が斜面一面に咲きそろう、竹林や東屋あずまやがあり、東屋付近から、僅かながら手賀沼を眺めることができます。ボランティア団体「船戸の森の会」が手入れをしています。

坂道八景① 古戸の坂の十字路



J R 成田線 湖北駅北口から徒歩 30 分

(近隣案内)

桜井の井戸跡、天満宮

古い井戸の跡がある地点から一つの坂が始まっています。この坂を「オランダのグラフィックデザイナーであるエッシャー（1898年～1972年）の絵のようだ」とたとえた人がいます。確かに、細い坂道がX字の形に交叉していて道がどうつながっているか分からない面白さがあります。そして、この坂を「坂の迷宮」と名づけた人もいます。

十字路に立って「どの道を行こうか」「この道を行くとどこに行くのかな」と思案したくなり、遊び心をくすぐられます。もし、何人かで行ったなら、のんびりとそれぞれが違う道を行き、また戻ってきてどのようなことを感じたかを話し合ってみるのも面白いですね。古くから生活道路として使われていた道で、鄙びた雰^{ひな}囲気があり、往時の情景を想像すると楽しくなります。

坂道八景② けやき通りの坂



J R 成田線 湖北駅南口から徒歩 10 分

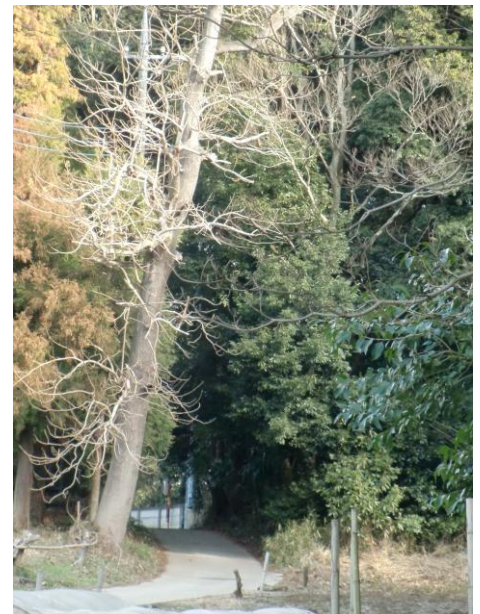
(近隣案内)

湖北台中央公園 (公園八景)

平成 11 年第 3 回我孫子市景観奨励賞を受賞したけやき並木の美しい坂です。昭和 41 年に湖北台に団地が造成された時に計画的に植樹されたけやきが成長して道の両側に大きな並木を作っています。中でもけやきの幹の太さが約 3m になったものもあります。このけやき通りは、坂上の〈四季の道〉(注 7) と坂下の〈手賀沼ふれあいライン〉(注 8) を結んでいます。四季折々の美しさがありますが、特に春の芽吹きと秋の紅葉が圧巻です。日差しの強い夏でもけやき並木が涼しさを与えてくれます。いつもきれいな^{たたず}佇まいが感じられます。

ゆったりとした坂で、歩道がありますから安心して散歩が出来ます。2 車線の道路ですからドライブも心地よいです。

おかほっと 坂道八景③ 岡発戸峠の坂



J R 成田線 東我孫子駅南口から徒歩 20 分

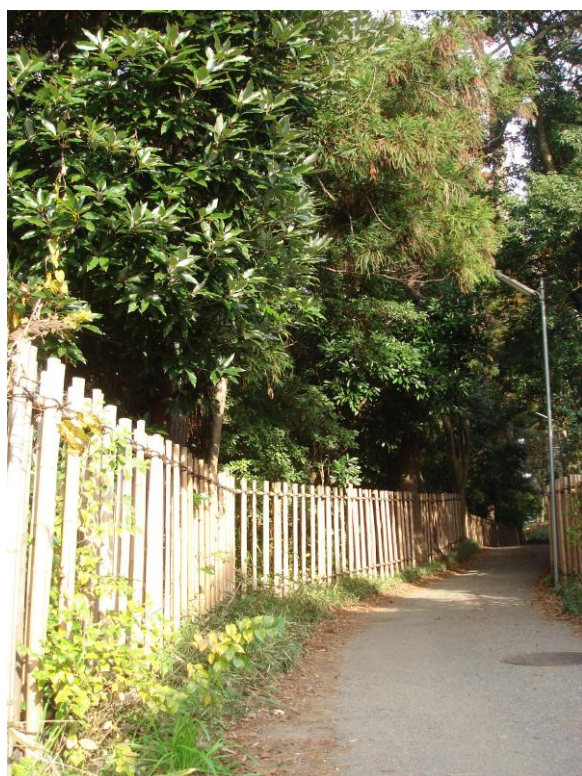
(近隣案内)

おかほっと
岡発戸市民の森、滝不動

平成16年第8回我孫子市景観奨励賞を受賞した味わいのある坂です。「^{おかほっと}岡発戸峠」という名前が付いていますが、実際には付近に峠はありません。第8回我孫子市景観賞に応募した方が「^{おかほっと}岡発戸峠」と書き、名前がそのまま今でも残っているのです。

^{おかほっと}岡発戸市民の森からハケの道に向かって続く長い緩やかなカーブの坂なのでゆったりした気分で散歩ができます。里山の風情があり、「私のふるさとに似ている」「懐かしい心地がする」と共感を呼んでいます。左右に竹林と梅林、そして野菜畑があり、豊かな自然と空と木々の風景があいまってとても美しく安らぎを感じます。坂の上りと下りでは、下りの方がより趣きがあると思われませんが、上りでだんだん空が大きく広がっていく様子もなかなか趣きがあります。上ったり下りたりを繰り返してその趣きを体感してみたいと思います。

坂道八景④ 日立坂



J R 常磐線 天王台駅南口から徒歩10分

(近隣案内)

高野山桃山公園 (公園八景)

国道356号沿いにある我孫子市立我孫子中学校の近くを1本斜めに入ると日立総合経営研修所があります。その研修所の本館と別館の間にある坂なので「日立坂」と名づけました。

この研修所は「生物多様性保全につながる企業みどりの100選」に選ばれており、坂を歩けば左右に、赤松・モミジ・ハゼなどさまざまな木々が見られます。木漏れ日が美しく、真夏でも木陰に涼しさを感じつつ森林浴ができます。木々を飛び交ういろいろな鳥を垣間見たり別館側の竹の塀越しには、湧水の池も見えたりする楽しみもあります。研修所では、春と秋の年2回、庭園公開が行われていて、その際はこの坂道は多くの人々で賑わいます。車が殆ど通りませんので、静かに散歩が楽しめます。

この坂は、手賀沼ふれあいラインに向かって下りていった時には「少しくねくねとした緩やかな坂だ」と思いますが、逆に上って来ると「それほど緩やかではない、歩き応えのある坂だ」と感じられるのではないのでしょうか？ 健脚の方には上りをお勧めします。

坂道八景⑤ 水神山古墳坂



J R 常磐線 我孫子駅南口より東我孫子行きバス
市役所下車徒歩10分

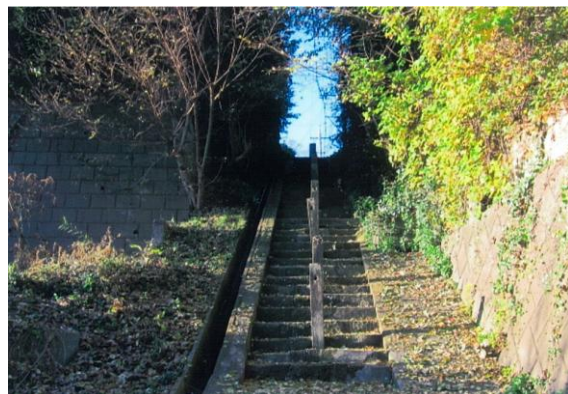
(近隣案内)

水神山古墳、香取神社、鳥の博物館
千葉県手賀沼親水広場

手賀沼ふれあいラインからの上り口に3m四方の湧水池(私有地)があり、鯉がゆったりと泳いでいるところから始まる坂は、狭く急ですが歩きやすいように足元に土留めが置かれています。「散歩で通る方がいますよ」と近隣の方が言っていました、静かに歩いてみたくなる坂道です。

左右の木々が自然のままの風情であり、かきこそと落ち葉を踏みしめて歩くと昔の街道を歩いているような気分になります。また坂がカーブしているため、どこまで続いているか見通せないのもちょっとした登山の気分にもなれます。坂の途中で振り返ると木々の間に手賀沼が見えます。上り切る直前右側間近に東葛一の大きさを誇る前方後円墳「水神山古墳」を見ることができ、そこへは坂を上りきって住宅地の一つ目の角を右に曲がると行くことができます。

坂道八景⑥ 子之神寄進坂



J R 常磐線 我孫子駅南口より東我孫子車庫行きバス 市役所下車徒歩5分

(近隣案内)

旧村川別荘、子之神大黒天延寿院
世界で一番小さな蝶ちよ園

市役所前でバス下車後、ハケの道を通って旧村川別荘を右に見ながら緩やかな坂を上ると、子之神大黒天延寿院の参道に出ます。子之神大黒天延寿院の駐車場奥の門の横を左に行くと、古色蒼然とした小さな石段の坂の上に出ます。この道は、昔からの子之神道の名残で、大師道にも使われていました。

狭い石段は、明治32年に作られた昔からの姿のままで、坂道八景に選ばれなければ忘れられそうな坂道です。ぜひ、ここを通って往時を偲んでほしいです。坂がこのように整備される前の文化3年(1806年)、小林一茶が江戸に向かう途中ここを通って子之神大黒天に詣でたと思われます。(小林一茶の「文化句貼」より推察)

石段は47段あり、坂の中央所々に石柱があり、中には頭部が欠けているものもあります。石柱にはこの坂を作るにあたって寄進された方の名前と金額(注10)が読み取れ歴史を感じます。

※旧村川別荘内を見学しながら庭内を上ると近道です。

※「市役所前」バス停から点線沿いに行くと、坂の下に出られます。

坂道八景⑦ 天神坂



J R 常磐線 我孫子駅南口から徒歩7分

(近隣案内)

白樺文学館、志賀直哉邸、杉村楚人冠記念館（邸園）楚人冠公園、我孫子市生涯学習センター（アビスタ）手賀沼公園（公園八景）

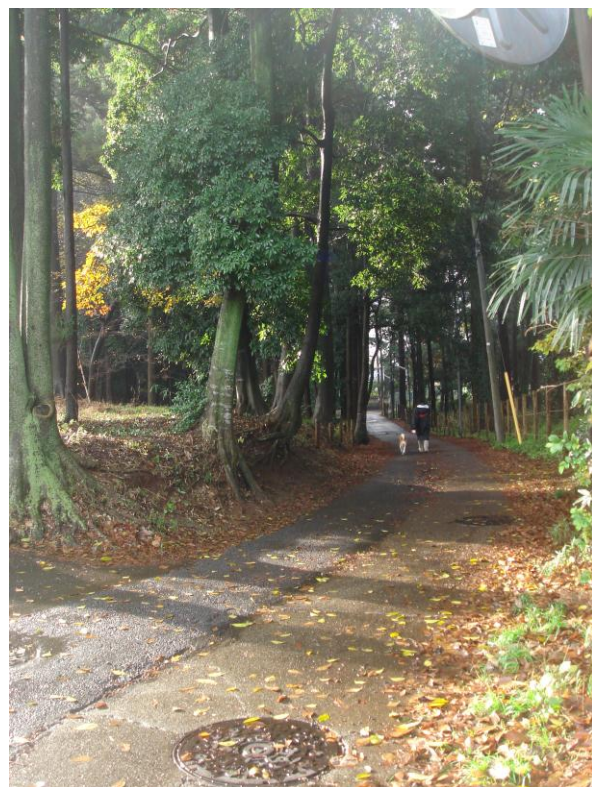
我孫子の200以上の坂の中でも一番の人気は、この天神坂です。この地に天神様があったことから「天神坂」と名づけられました。平成13年第5回我孫子市景観賞を受賞しました。

手賀沼ふれあいラインからハケの道に入ると、すぐ左手に道標があって石段が現れます。左にカーブした坂をそのまま上がっていきましょう。自然石の平らな石と丸石を巧みに配した美しい石段の歩きやすい坂道です。平成5年にこのように整備されるまでは、泥んこの急坂だったそうです。かつては、この坂を白樺派の文人たちも足繁く歩いたことでしょう。

上って左側は三樹荘（注9）で、その落ち着いた擁壁には、坂の由来とご当主の短歌が記された二枚の黒御影のプレートが嵌め込まれていて、風情があります。見上げると3本の椎の巨木が枝葉を大きく広げ、夏でも涼しい所です。坂を上った右側の巨木の庭は嘉納治五郎別荘跡です。歴史の道、文学の道でもあり、文人たちの往時が偲ばれます。この石段坂は、市制40周年の記念切手に採用されました。

ボランティア団体「三樹会」の方々が定期的に清掃活動をしているので、大変きれいです。夕方になるとほんのりと明かりが灯り幽玄と情緒を感じさせられます。

坂道八景⑧ 船戸の森の坂



J R 常磐線 我孫子駅南口から徒歩 10 分

(近隣案内)

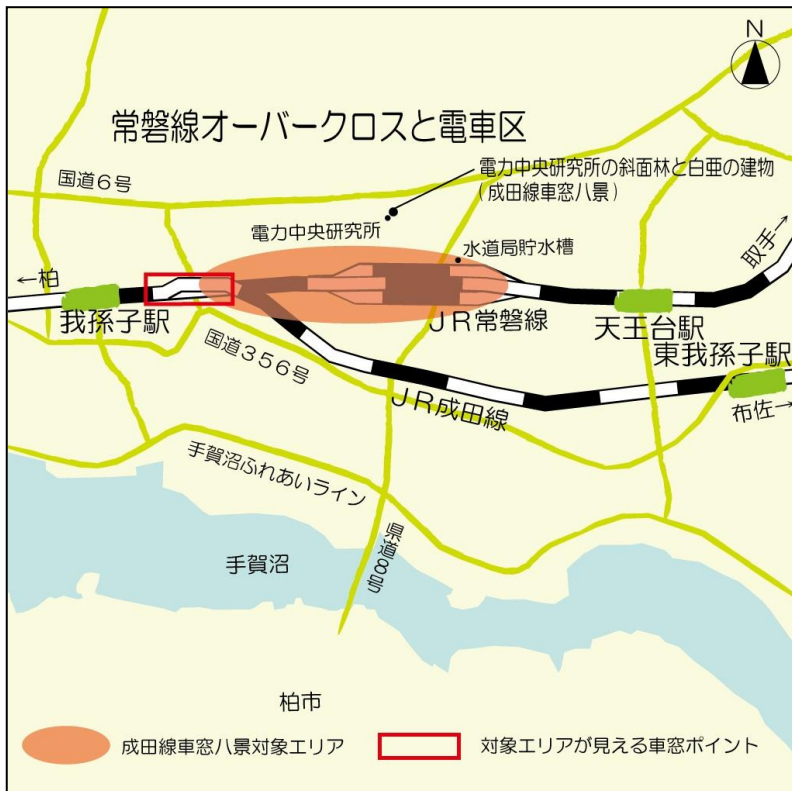
根戸船戸緑地 (公園八景)

武者小路実篤邸跡

根戸船戸緑地を南北に一直線に抜けています。坂の左右に大きな木の林があり、夏は涼しさを、冬は暖かさを豊かに感じられて避暑地を歩いているような坂道です。緩やかな坂で、根戸船戸緑地と合わせた散歩に適しています。疲れたら、根戸船戸緑地で一休みするのもお勧めです。

ハケの道から上っていくと左手に旧武者小路実篤邸跡があります。武者小路実篤や志賀直哉など白樺派の人々がこの道を往来した歴史のある道です。坂を下れば、ハケの道が左右に続き、左手には小屋根と水受けのある湧水や築地塀も近くににあります。その先を行くと<富士見坂>と<白山五坂>(共に仮称)と呼ばれる石段坂もありますので、続けて坂道ウォーキングも楽しめます。

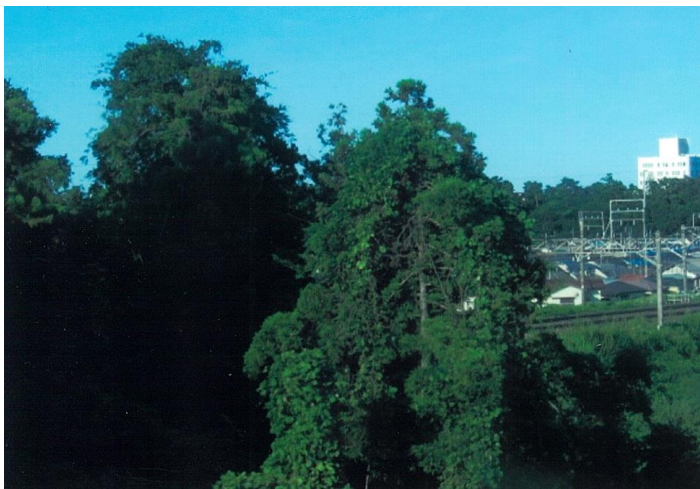
成田線車窓八景① 常磐線オーバークロスと電車区



我孫子駅で電車に乗ったら、ぜひ先頭車両の運転席の後ろに立って前方を見ていて下さい。高架線をゆっくり登りだすのが感じられた頃、オーバークロスが見えてきます。そして常磐線や千代田線の引き込み線の上を右にカーブを切っていきます。直前の保存緑地の先に電車区が広がり、その展望はなかなか面白く、線路が何本も並んでいる様は鉄道ファンにも人気のポイントのようです。また、夜景もライトが並び独特なものがあります。遠方に見える煉瓦色の円筒形の建物は、水道局の配水池（貯水棟）です。

我孫子駅のホームには山下清画伯が青年時代身を寄せていた「弥生軒」のお蕎麦屋さんがあります。立ち食い蕎麦を食べながら電車を待つのもおもしろい体験になるかもしれません。

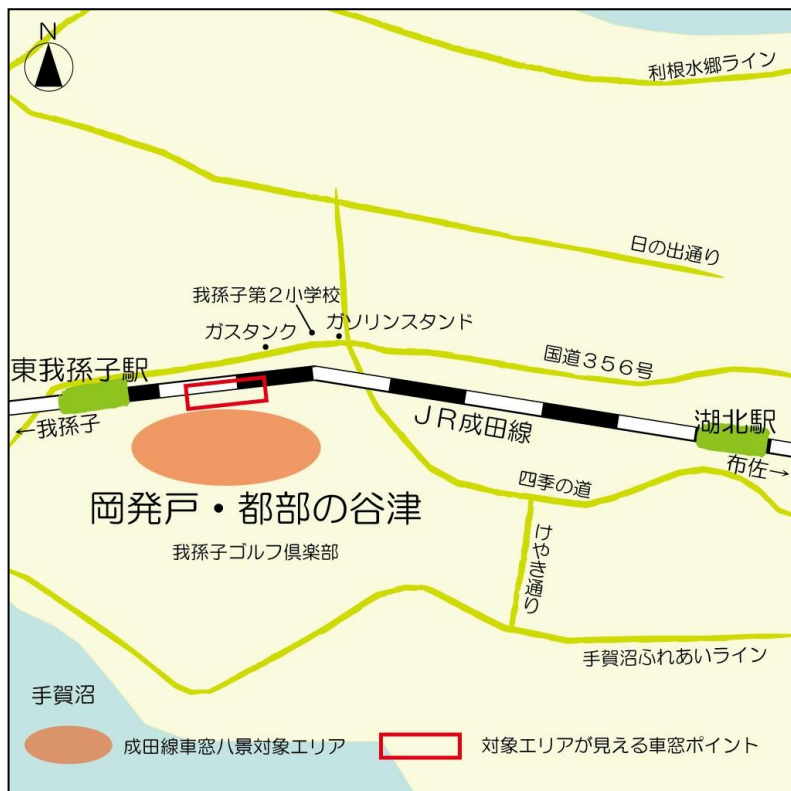
成田線車窓八景② 電力中央研究所の斜面林と白亜の建物



我孫子駅を出てオーバークロスを過ぎると、電車はスピードを上げて見逃さないように左側を見てみてください。常磐線と別れてしばらく行くと、眼下の住宅街の向こう、深い緑の斜面林の上に白亜の建物が断続的に見えてきます。電力中央研究所（注11）です。住宅・斜面林・建造物…そのコントラストが、車窓ならではの景色となっています。

この研究所は国道6号の南北に広大な敷地を有していて、斜面林が南西斜面を取り巻いています。国道6号沿いの桜と、並木地区に面した四季桜（春秋に咲く）が見事です。

おかほつと いちぶ
成田線車窓八景③ 岡発戸・都部の谷津



東我孫子駅を過ぎると右側に一本の水路が伸びた谷津が見えてきます。車窓右側に見える世界的に有名な我孫子ゴルフ倶楽部のクラブハウスと田園風景とのコントラストがとてもよく、一瞬ですが、車窓ならではのビューポイントになっています。また、断続的に木の間越しの谷津の風景も見られます。

この谷津は、36.7haあり、手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残っている所として、平成2年に市が「谷津ミュージアム」構想を立ち上げ、幾つかの市民団体とともに、その維持・保全につとめています。東我孫子駅から近いので是非訪ねてみてください。

成田線車窓八景④ 湖北の里山

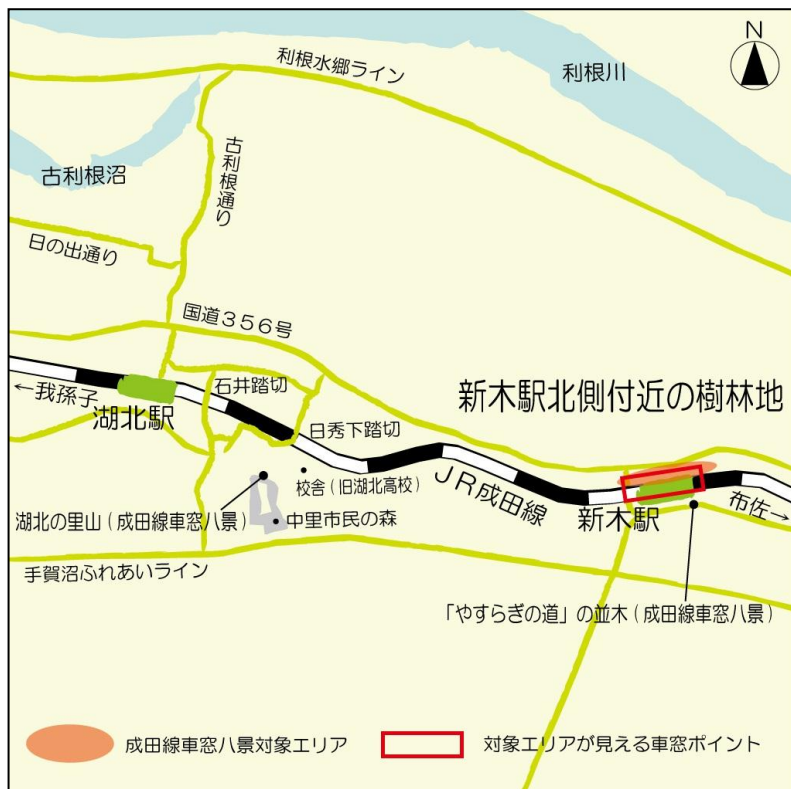


湖北駅を出て新木方面にしばらく走り、右側の住宅地を過ぎるとのどかな田園風景が広がり、「ふと郷里の里山を思い出す」と応募用紙に書いてくれた人がいます。

日秀下踏切あたりから、旧湖北高校のグラウンド越しに遠く見える樹林は中里市民の森のそれでしょうか、森の向こうに何があるのか電車を降りて歩いてみたくなるような風景です。

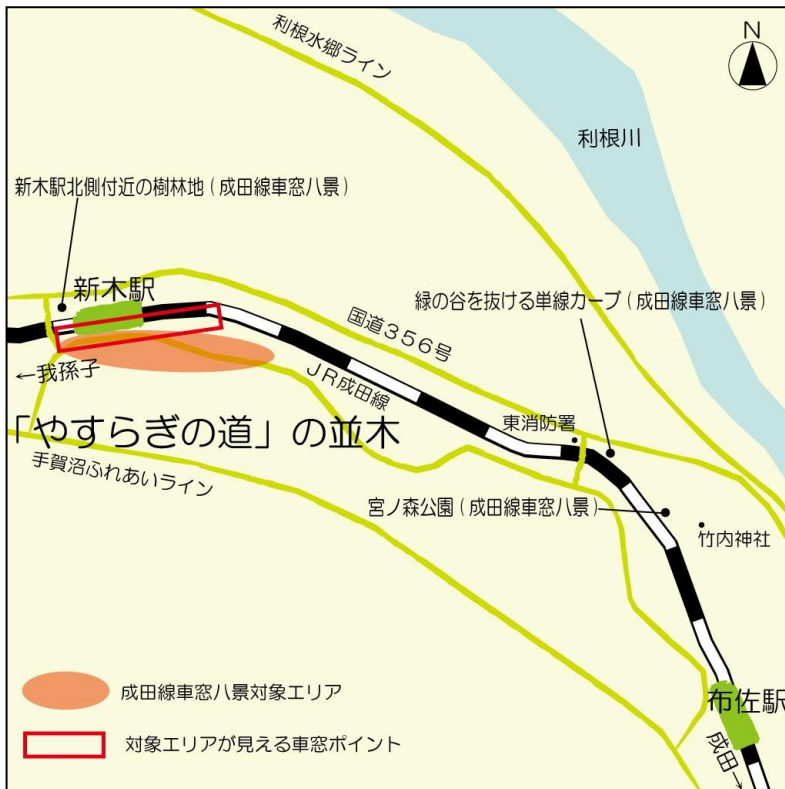
旧湖北高校構内には石器時代以降の遺跡が眠っており、その南に位置する中里市民の森には鎌倉道の跡もあり、歴史を感じる所です。少し足を延ばせば将門神社や将門の井戸にも出会えます。

成田線車窓八景⑤ 新木駅北側付近の樹林地



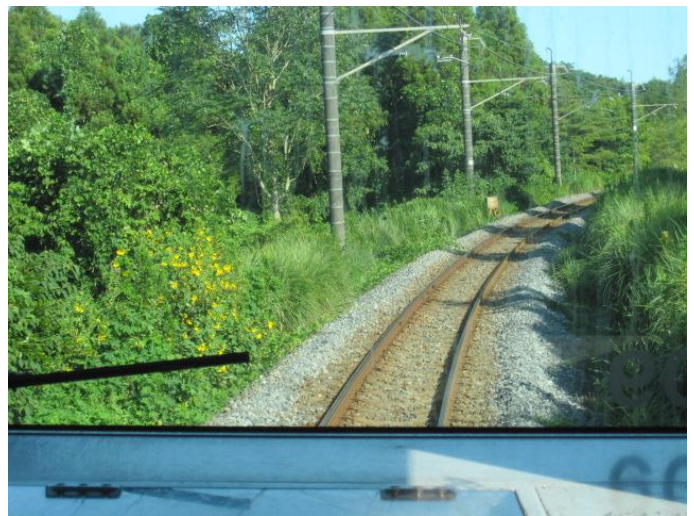
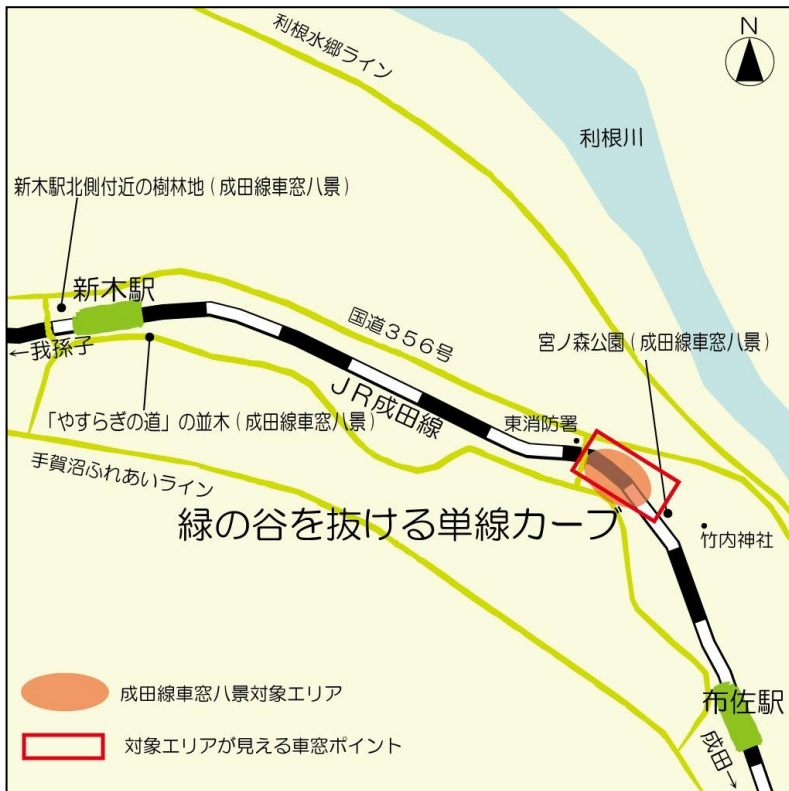
新木駅から下新木踏切（駅のすぐ西）近辺に至る北側間近に、椎の木などの樹林地を見ることができます。手賀沼からの強風を防ぐため、屋敷の南側（線路側）に植えられています。その歴史は古く、もっとも古い樹は明和年間（1764年～1771年）に植えられたといわれています。手賀沼がまだ大きかった頃の名風景の一つが、ここに残っています。駅のホームに立って、「やすらぎの道」の並木と併せて、新旧の景観を楽しんではいかがでしょうか。

成田線車窓八景⑥ 「やすらぎの道」の並木



布佐平和台から南新木の手賀沼ふれあいラインに向かう「やすらぎの道」(注1 2)が新木駅の南口前を通ります。そこに「ムサシノケヤキ」の並木が、美しく続いているのが車窓からよく見えます。普通のケヤキとは異なり、横方向に出る枝が少なく、ホウキを逆さまにしたような樹形が面白く、我孫子ではこの道だけで見ることができます。きれいに手入れがされていて、つい降りて歩いてみたくなるような景色です。

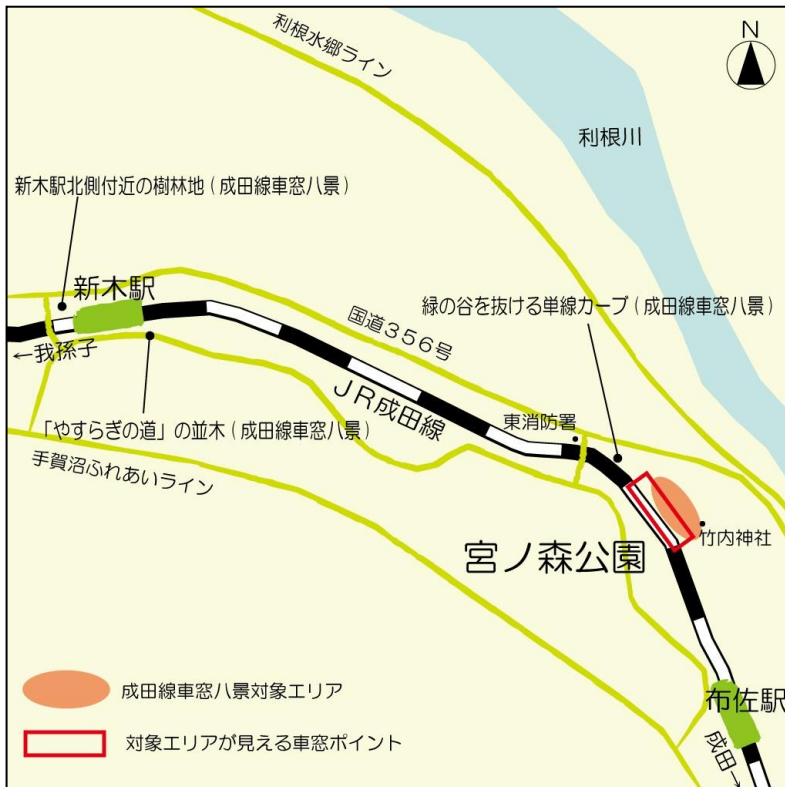
成田線車窓八景⑦ 緑の谷を抜ける単線カーブ



新木駅と布佐駅の間、電車の先頭車両に乗り前方を見ていると、成田線の特徴的な単線カーブが右に左に緑の谷を抜けて行きます。迫ってくる木々の緑は迫力があり、移り変わる四季それぞれに楽しめます。

この区間は珍しく人家が無く、それが不思議な空間になっていて、後部車両からの景色も面白いものがあります。子どもの頃を思い出してワクワクしてくることでしょう。

成田線車窓八景⑧ 宮ノ森公園



新木駅を過ぎ布佐駅に着く手前左手下に、自然の地形や立ち木などをそのまま取り入れよく整備された公園が、線路沿いに見えてきます。

車窓からの四季折々の景色は絶景で、春は桜、夏は蝶やトンボが飛び交い、秋は紅葉が美しく映えます。特に遊歩道を覆うように咲く桜は、「谷崎潤一郎の「細雪」の映画のワンシーンを思い出します」(応募用紙より)

※公園八景の「宮ノ森公園」もご参照ください。

訳注

【公園八景】

- 注1 布佐が生んだ、我が国気象学の父と云われた郷土の偉人。生涯を気象学の発展にささげ、日本の近代気象学の基盤を築いた。32歳の時、日露戦争、日本海海戦の連合艦隊に打電した翌日の天気予報「天気晴朗ナルモ浪高カルベシ」が有名。
- 注2 本名、藤原寛人。作家、気象学者、登山家。小説「劔岳 点の記」は映画化され2009年に公開された。
- 注3 明治から大正にかけての利根川河川改修工事で取り残された三日月湖。対岸は取手市^{おおほり}小堀。
- 注4 在地名を姓とする芝原某により、永正年間（1504年～20年）に築城されたといわれる。その後河村氏が入城した。天正18年（1590年）秀吉の小田原北条氏征伐の後廃城となった。
- 注5 我孫子第二小学校・我孫子第一小学校・我孫子中学校の校長を務め、教育界から政界に転じ、1977年参議院副議長を務めた人。
- 注6 ハケ（はけ）は、「丘陵山地の片岸」と広辞苑にあり、我孫子では台地の下の道を「ハケの道」と呼んでいる。

【坂道八景】

- 注7 「四季の道」は、平成12年に我孫子市が6つの道路に愛称を付けたそのひとつ。県道我孫子・利根線（土手のバイパス）からNECの横を通り、かじ池亭の東側から日の出通りを横切り、湖北台の大通りを行き、若草幼稚園に突き当たるまでの道。
- 注8 「手賀沼ふれあいライン」は、平成12年に我孫子市が6つの道路に愛称を付けたそのひとつ。柏市境の根戸新田から手賀沼沿いの道を東へ進み、五本松公園、湖北台、南新木、相島新田を経て、布佐の印西市市境までの我孫子で最も長い道。
- 注9 柳宗悦、兼子夫妻の住居跡で、3本の椎の巨木に^{ちなみ}因み叔父の嘉納治五郎が「三樹荘」と名づけた。
- 注10 子之神大黒天延寿院の境内には、この坂道の「石壇記念碑」があり、2百人近い寄進者の名前と金額が刻まれていて、それは50銭から5円まであって、なかなか興味深い記録である。当時の1円は現在の2万円くらいの貨幣価値。ちなみにお米は10キロ1円2銭、ビールは大瓶1本19銭とか。

【成田線車窓八景】

- 注11 一般財団法人電力中央研究所は、昭和26年（1951年）9電力会社の設立とともに創立された。我孫子研究所は、その前身の農電研究所として昭和32年（1957年）に設立され、昭和61年（1986年）に現名称に改称された。地球工学研究所、環境科学研究所、我孫子運営センターの組織がある。年に1回、研究所内が公開され、イベントが催されている。
- 注12 「やすらぎの道」は、平成12年に我孫子市が6つの道路に愛称を付けたそのひとつ。布佐駅南口前から布佐平和台の住宅地を通り、新木駅南口前を通って、手賀沼ふれあいラインに通じる道。

出典

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1 公募推薦文 | 応募者 |
| 2 我孫子の史跡を訪ねる | 我孫子市教育委員会 |
| 3 ふるさと我孫子の先人達 | 我孫子市教育委員会 |
| 4 我孫子市将門伝説の地の巨木を訪ねる | 北総の森・巨樹古木研究会 |
| 5 電力中央研究所 ホームページ | 電力中央研究所 |
| 6 あびこの歴史景観を探る | 我孫子の景観を育てる会 |
| 7 景観あびこ | 我孫子の景観を育てる会 |
| 8 我孫子の坂道ウォーキングマップ | 我孫子の景観を育てる会 |

我孫子のいろいろ八景選考委員会委員

(50音順)

折原 淳二	我孫子の文化を守る会
佐久間 俊行	あびこガイドクラブ
染谷 迪夫	我孫子野鳥を守る会
田宮 純子	ふれあい手賀沼の会
藤木 顕斎	我孫子市民活動ネットワーク
吉澤 淳一 (委員長)	我孫子の景観を育てる会

我孫子のいろいろ八景 見聞綴り

平成25年3月16日発行

発行者 我孫子市 都市計画課 景観推進室
千葉県我孫子市我孫子1858番地
電話 04-7185-1111 (代表)

企画・編集 我孫子の景観を育てる会

(非売品)



オオバンくん

